



図書館案内

副委員長 佐藤 大和

県工生の皆さん、図書館をどの位利用していますか？一人や友達同士で来る人、授業などで利用する人など、たくさんいると思います。

そんな中でもあまり本に興味のない人、部活やアルバイトで忙しく図書館を利用したことのない人など、改めて図書館のことを知ってもらうために、ここで紹介したいと思います。

最初に、本の種類です。ほとんどの高校の図書館では、

第76号

令和6年度 図書館報 発行者

福島県立 福島工業高等学校 図書委員会

福島市森合字小松原1 ☎024-557-1395 ☎024-553-4600

漫画などはあっても多くはないでしょう。ですが、県工の図書館は漫画がメインと言ってもよいくらい漫画の種類が豊富です。漫画と一口に言っても、ジャンプやヤングジャンプ、マガジンなどみんなが知っている出版社の漫画がそろっています。また、漫画だけでなく、小説やライトノベルなどかなりの種類があるとと思うのでぜひ見てみてください。実業系高校ならではの専門書や資格に関する本なども科ごとに揃っているの、目的に合わせた様々な利用方法ができます。

次に、多くの高校の図書館では、飲食が禁止の場合が多

いと思います。ですが、県工の図書館は飲食が可能なのです。他の科の生徒や部活の先輩後輩などと一緒に交流を深めるためにぜひ利用してみてください。

それだけでなく、図書館にはパソコンがあり、学業や授業に関する内容であれば昼休みなどに図書館で調べることだってできます。コピー機も設置されており、こちらも学業や授業に関する内容であれば、印刷することが可能です。

最後に、リクエストカードというものがあるのをご存じですか？おそらく聞いたことのないという人が大多数だと思いますので、ここで紹介します。自分の読みたいと思っていた本が他の人に借りられていて読めない、ということはありませんか？図書館の貸し出し用PCの隣に置いてあるこのカードに必要な事項を書いて出

すと、本が返ってきた際、連絡が来ます。これを活用すれば、毎日本を確認しにきたり、また別の誰かに持つていかれることもありません。

こういった、県工の図書館にしかないような物や、魅力もたくさんあります。皆さんもぜひ、立ち読み程度からでもよいので、図書館を利用してみてください。

もくじ

- P1 図書館案内
- P2 選書実習報告
- P3 読書感想カード
- P4 教頭先生寄稿
- P5〜7 先生方よりおすすめの一冊
- P8 図書委員会イベント報告
- P9〜11 読書アンケート結果
- P12 今年度の月別利用状況・入庫者一万人突破！

選書実習報告



七月一九日(金)終業式の午後、五名の図書委員でジュンク堂書店郡山店さまに選書実習に行ってきました。

選書実習とは、県工図書館にふさわしいと考えた専門書や話題の本を選んで購入する活動です。

ジュンク堂さまは五〇万冊を超える県内最大規模の蔵書数を誇り、文芸、児童、実用といった一般書はもちろんの事、医学、理工、人文といった専門書までの幅広い品揃えに図書委員も驚きの様子でした。実際に本を手にとって選ぶ楽しみを満喫することができました。

参加者の感想

去年に引き続き二回目の参加だったが、去年よりも専門的な内容や話題性のある内容を自分で考えて選ぶことができた。また、委員長として他学年や他クラスの生徒とも交流ができ、とても良かった。県工の図書館は本のジャンルも充実しているため選ぶのが難しかったが、自分が選んだ本が県工生に少しでも役立つてくれるとうれしい。

情報電子科 3年 高橋心菜

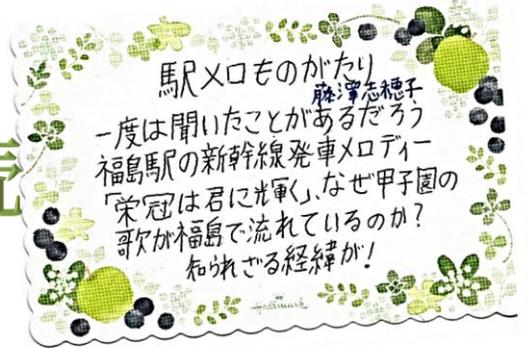
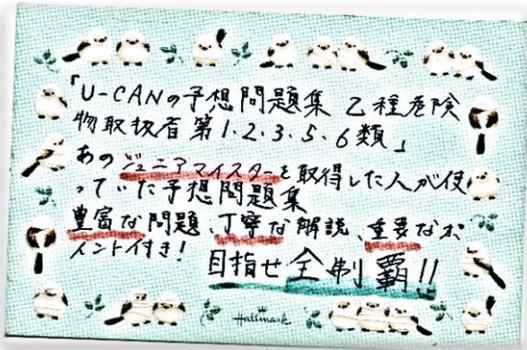
都心などの大きな本屋で自分が欲しい本か、自分の科の活動に役立つ本を自分で選びそれを買うに行く活動でした。初めての選書実習に参加してみて、選書実習に参加する人が少なくなっているのに少し驚きました。それとは裏腹に本に本当に興味がある人が集まっていて選書時に自分の欲しいと思っていたものとは別に新しい本とも出会える面白い活動でした。今後も参加して来る後輩には、一人だけでなく二人で話し合いながら参加してみるととても勉強にもなるし楽しいので、友人や同じ科の人と参加して欲しいです。私としては、新鮮でも楽しく選書できてよかったです。

建築科3年 橘 優輝

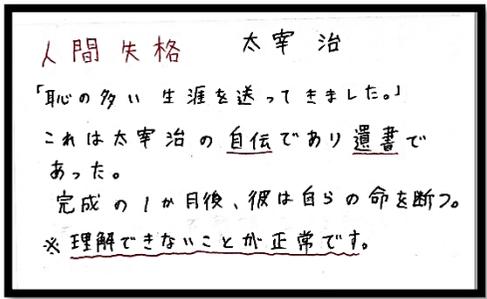
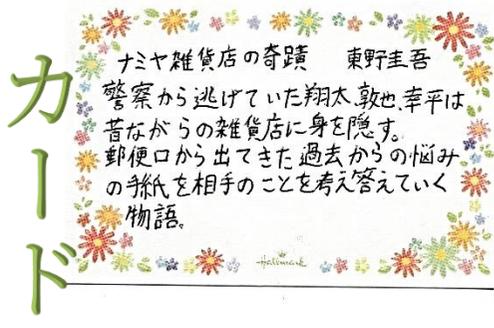
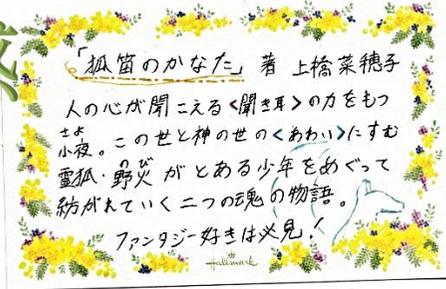
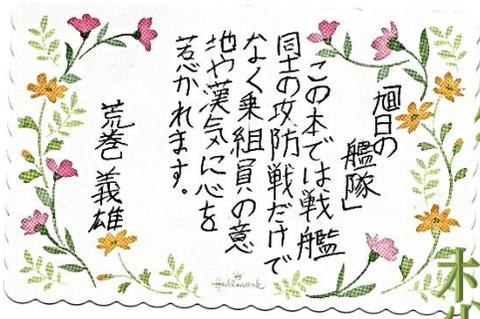


読書感想カード

国語の授業で作成したものを掲載させていただきました。



読書感想カード



教頭先生寄稿

「図書館は面白い」

教頭 厚海 肇



毎日のように図書館に通っています。特に楽しいのは、図書館の入口に「本日の入館者カウンター」があり、マウスをクリックすると人数が1名追加されることです。今年度の入館者が1万人を超えました。1万人目は私ではなく、情報電子科2年生畑中君でした。1万人目の入館記念に司書の吉川さん手作りの“金メダル”と“図書カード”が贈られました。入館者が1万人を超えるということは、それだけ図書館は面白いということです。特に本校の図書館は漫画が充実しており、毎日読んでも

読み切れないほどあります。私も借りて通勤電車で読んでいます。

さて、皆さんは「本屋大賞」をご存じでしょうか？書店で働く書店員の投票だけで選ばれる賞で、書店員が自分で読んで「面白かった」「お客様にも薦めたい」「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票して大賞を決めます。2004年の第1回は「博士の愛した数式」が受賞、その後「東京タワー」「舟を編む」「そして、バトンは渡された」「かがみの孤城」「蜜蜂と遠雷」「流浪の月」「52ヘルツのクジラたち」など、毎年大賞受賞本があり、映画化された作品も多くあります。2024年は「成瀬は天下を取りに行く」です。大賞本を読むと、なるほど“面白い”と思います。大賞の他の2位や4位はどうかと気になり読んでみると、どれも“面白い”図書館にもたくさんあります。

本の楽しみ方はいろいろです。漫画でも小説でも専門書でも雑誌でもいい

と思います。感動した小説の舞台となった風景や場所を見に行く。自分が映画監督として、俳優のキャスティングやロケ地を考えてみる。自分が主人公なら・・・と想像してみる。など、いろいろな楽しみ方ができます。読書によって心が豊かになります。面白いことがないときは、まずは「本屋大賞」の本を読んでみてはどうでしょうか。面白い本を探して図書館へ行きよう！



先生方より
おすすめの一冊

「兵法」

孫子 著
保健体育科 飯沼康太

思い返すと、ここ何年もゆっくり読書などという時間を過ごしていません。手に取る著書は仕事に活用するものばかりですが、その中でも、私がバレーボールの戦略や戦術に活かしている本で、皆さんが社会人になったときに生き方の参考になるかもしれない本を紹介いたします。

「孫子の兵法」は、古代中国の軍事戦略書であり、戦争や戦術に関する知恵が凝縮されています。本書は、敵を知り己を知ることの大切さや、状況に応じた柔軟な対応の必要性を強調し、戦争だけでなくビジネスや日常生活においても応用可能な普遍的な教訓を提供しています。「孫子の兵法」は、数千年にわ

たり多くの人々に影響を与え続けており、戦略的思考を深めるための必読書となっています。

「博士の愛した数式」

電気科 佐藤光三



80分しか記憶が続かない数学者と、家政婦とその息子との交流の物語です。作品の中で登場する数式をふたつ紹介します。

まず完全数。完全数とは「その数字自身を除く約数の和がその数字自身に等しい自然数」。例えば28の約数は1,2,4,7,(28)。その約数の和は $1+2+4+7+28=42$ 。これが完全数です。博士は阪神タイガースの江夏のファンだったことから江夏の背番号28が完全数であることに喜びを感じていました。もう一つは、 $e^{i\theta} = \cos\theta + i\sin\theta$ 。電気系の生徒であれば、「i」の代わりに「j」を用いて交流回路の計算を行いました。オイラーの公式 $e^{i\theta} = \cos\theta + i\sin\theta$

$\sin\theta$ に $\theta = \pi \text{ rad}$ を代入すると $e^{i\pi} = \cos\pi + i\sin\pi = -1 + 0 = -1$ 。eはネイピア数2.71828...、iは複素数、 π は円周率3.14159...。無理数や複素数からなる数式が「i」になる。博士でなくとも不思議な魅力を感じる数式です。著者は小川洋子さん。とても読みやすく、ほかの作品もおすすめです。

「私の読んだ本」



機械科 渡辺 元一郎

- ・「私の手が語る」 本田 宗一郎 著
- ・「F1戦略の方程式」 浜島 裕英 著
- ・「エンジニアが明かすF1の世界」 小松 礼雄 著
- ・「デンソー 世界の車を支える最強技能集団」 大河 滋 著
- ・「経営者のこころ」 稲盛 和夫 著

・「必ずできる、もっとできる」

大八木 弘明 著

・「フツターの会社員だった僕が、青山学院大学を箱根優勝に導いた47の言葉」

原 晋 著

・「その1秒を削り出せ」

酒井 俊幸 著

・「走れ クニミツ」

高桐 唯詩 著

などです。興味のある方は、一度読んでみてください

「一瞬で不安をしずめる名言の知恵」

機械科 梅宮 貴昭



皆さんは、何か不安に思ったとき、どんな方法で不安をやわらげますか。家族や友人、先生に相談することで解消される場合もありますが、その方法の一つが本であったりします。今回紹介する本は賢人たちの名言を著者がわかりやすく解説しています。一例を紹介します。

『嫉妬は、気質のすぐれた者にあつては、闘争心となる。』英国の詩人ポープ

の言葉があります。「嫉妬は決して悪い感情ではなく本質的には競争心なので、嫉妬の相手は努力目標になる。」と著者は言っています。自分ではできなくて手ができると不安になるし、嫉妬してしまいます。嫉妬した相手をよく観察し、その嫉妬心を向上心に変換すれば成功する術が見えてくるかもしれません。

この類の本は他にもたくさんあります。不安は乗り越えることで成長の糧になると考えます。多くの本を読んで様々な考え方の気付きに役立てて欲しいと思います。

「だれも教えてくれなかった

エネルギー問題と気候変動の本当の話」

建築科 熊田 尚



「気候変動」「温室効果ガス」「カーボンニュートラル」「再生可能エネルギー」。関係する本を手にとっても難しい

ことが書いてあり、理解することができないし、考えてもよくわからないので、自然とこれらの問題から目を背けるようになっていました。でも、この本は漫画形式で、しかもカラー印刷なので、とても読みやすいものになっています。

残念ながら私は「エネルギー問題」を解決することはできないと思っています。「エネルギー問題」を解決できる人は誰もいないとも思っています。しかし、たとえ解決することができないとしても、問題から目を背けずに、何が起きているのかを知ることが、エネルギーを使う者としての義務だと思っています。

この本を読んでも、結論は出てきません。でも、この先の人生の中で、何か決断する際に、きっと役に立つと思います。

「おすすめの一冊」

工業機械科 川島 心



冒険心と自己探求。この二つの単語に興味を感じたのなら、この二人の作家がおすすめ。一人目は小説家、開高健「オーパ!」。釣りや旅に関する冒険文学で自然や人間の本質が生き生きと描写されている。釣りや旅などの趣味に没頭する姿が描かれ、単なる娯楽ではなく深い哲学や人生観の表現、現実と向き合いながらも夢や探求を大切にしている姿勢は、勇気と刺激を受けること間違いなし。

二人目は漫画家松本零士の「銀河鉄道999」。未来や宇宙への夢を広げ、深いテーマを内包している。単なるSFではなく、自由や友情、命の尊さを問ひかけ、死生観、道徳観を主人公と共に体感でき、緻密な世界観やキャラクターたちが葛藤し成長する姿から心に残るメッセージが受け取れる。

両者の作品は冒険心と自己探求の大

切さを教えてくれます。開高健が示す現実の中の探求と松本零士が描く夢の中の旅路は、読書を通じて新たな世界を見つけるきっかけとなるはず。お勧めです。

「学級文庫」

環境化学科 松田 有美



本をどのくらい読んでいますか? 残念ながら日頃から本を読んでいる人は少ないのでしょうか。私は担任をしていた時、紙の本を手にとってほしいと思ひ、教室にカラーボックスを置き、学級文庫を作りました。小説やエッセイなどがあればよかったです。資格に関する本や分かりやすい化学の本などを入れました。その中から何冊か紹介します。

『もしも原子が見えたなら』(板倉聖宣著、さかたしげゆき絵) 見えない原子が見えたならばどんな世界?

『身のまわりのありとあらゆるものを化学式で書いてみた』(山口悟著) 身

近なものを化学式で表すと?

どちらも堅苦しい専門書ではありません。ネットで検索し、CGや動画を見て理解するのもいいですが、たまには本を読んでイメージを膨らませてみるのはいかがでしょうか?



図書委員会活動報告

図書委員会企画

イベント開催

今年も昨年度に引き続き、図書委員会企画イベントを開催しました。図書委員の企画班が計画し、今年度は二月二〇日(金) 始業式終了後に実施しました。内容はカードゲームとニンテンドースイッチを用いた対戦バトルです。

参加者の数が心配されましたが一〇人を超える参加者があり、大いに盛り上がりました。

今スマホゲームで流行っているポケモンポケット。元祖であるポケモンカードが実際に図書館の机の上で展開する様子は一見の価値がありました。

来年度もぜひ、企画班を中心に新たなイベントに挑戦してほしいと思います

す。企画した班員、そして参加してくれた生徒の皆さん、本当にありがとうございました！

(以下はアンケートの感想になります)

人数も増え人数も増え盛り上がった。久しぶりに人と対戦することができた。いろいろな人とゲームができた。学校でゲームができて楽しい。普段やらない人とゲームができた。普段やらない人と一緒に楽しめた。学校でゲームができたか。マリカーを久しぶりにできたか。コミュニケーションがとれて楽しかった。楽しく遊ぶことができた。



本校同窓会よりの寄贈

本校同窓会東京支部様より、本校の教育活動のさらなる発展を期して寄贈品を賜りました。

三台の新品の配架棚は白くぴかぴかで、早速図書館内で存在感を示しています。車輪がついているので、これでも重い本もらくらく書架へ移動することができます。

ありがとうございました！



県工生は、こんな本を読んでいる！

— 高校生読書アンケート
調査結果より—

令和6年度 高校生の読書アンケート調査結果
実施年月日：令和6年9月
調査人数：527人(在籍者660人) 回答率：80%

★最近読んだ本

順位	書名	人数
1	変な家	6
2	スパイ教室	3
	探偵はもう、死んでいる。	3
3	あの夏が飽和する	2
	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	2
	羅生門	2
	時々ボソッとロシア語でデレる隣のアーリャさん	2
	四月になれば彼女は	2

★心に残った本

順位	書名	人数
1	君の隣をたべたい	7
2	かがみの孤城	4
	君たちはどう生きるか	4
3	あの夏が飽和する / 余命10年	3
	君は月夜に光り輝く / 変な家	3
	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	2
4	カラフル / 三日間の幸福	2
	ラゲリより愛を込めて	2
	一瞬を生きる君を、僕は永遠に忘れない。	2
	告白/君の名は/人間失格	2
	探偵はもう、死んでいる	2

★好きな作家

順位	作家名	人数
1	東野圭吾	13
2	住野よる / 湊かなえ	6
3	芥川龍之介 / 雨穴	4
	太宰治 / 西尾維新	4
4	汐見夏衛 / 米澤穂信	3
	小坂流加	3
5	伊坂幸太郎	2
	深海誠/三秋縊/星新一	2
	筒井康隆 / 伏瀬	2
	佐野徹夜 / 太宰治	2

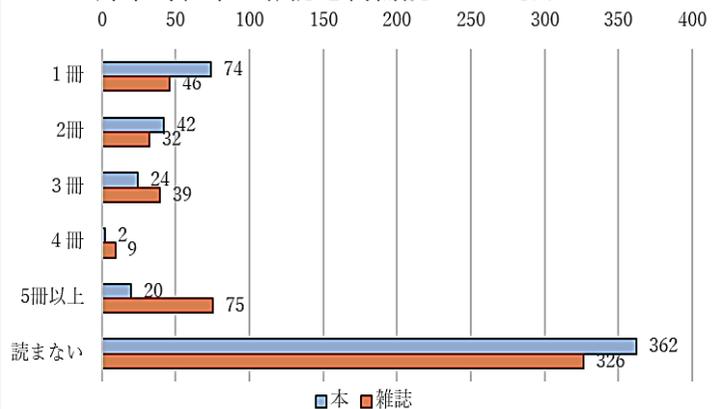
★よく読む雑誌

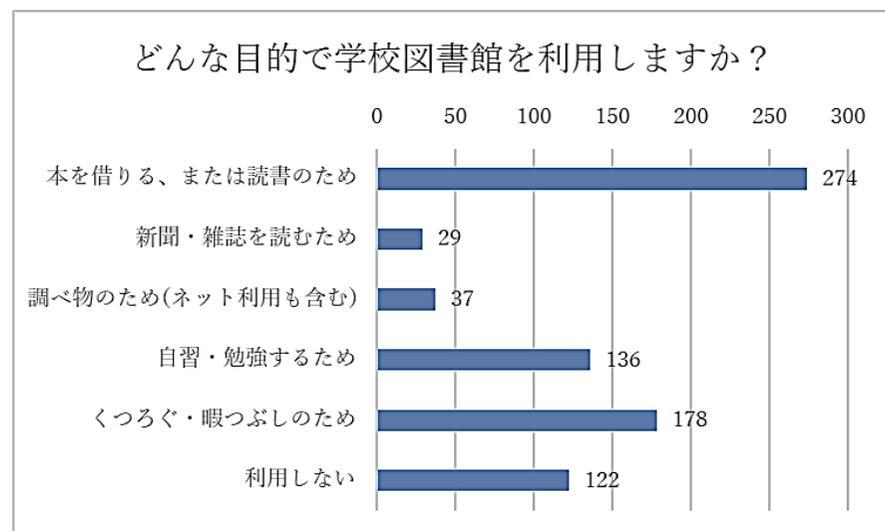
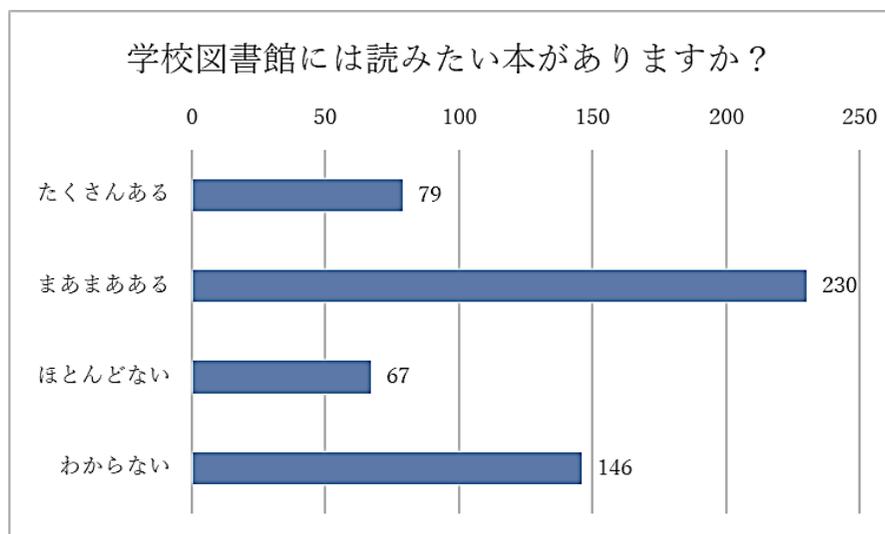
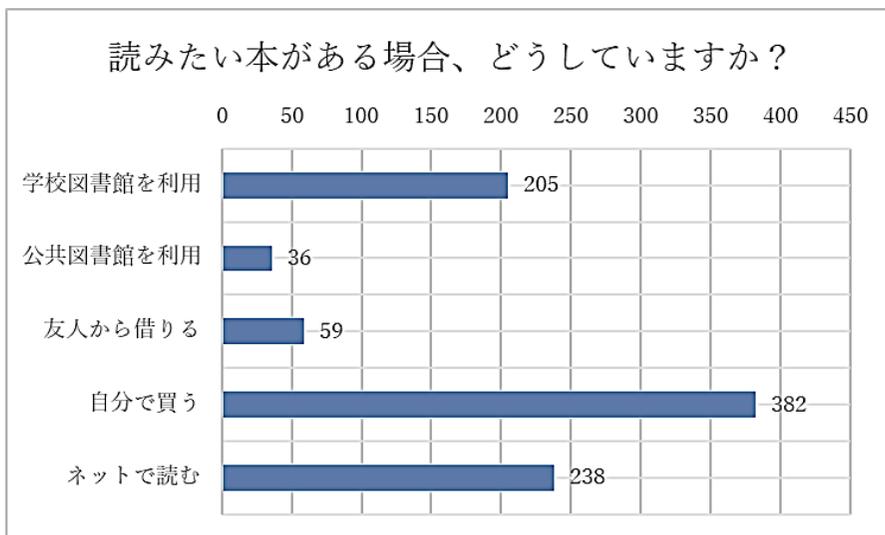
順位	雑誌名	人数
1	少年ジャンプ	39
2	POPEYE	2
	新建築	2
	ベースマガジン	2
3	ヤングジャンプ	2
	少年マガジン	2

★よく読むマンガ

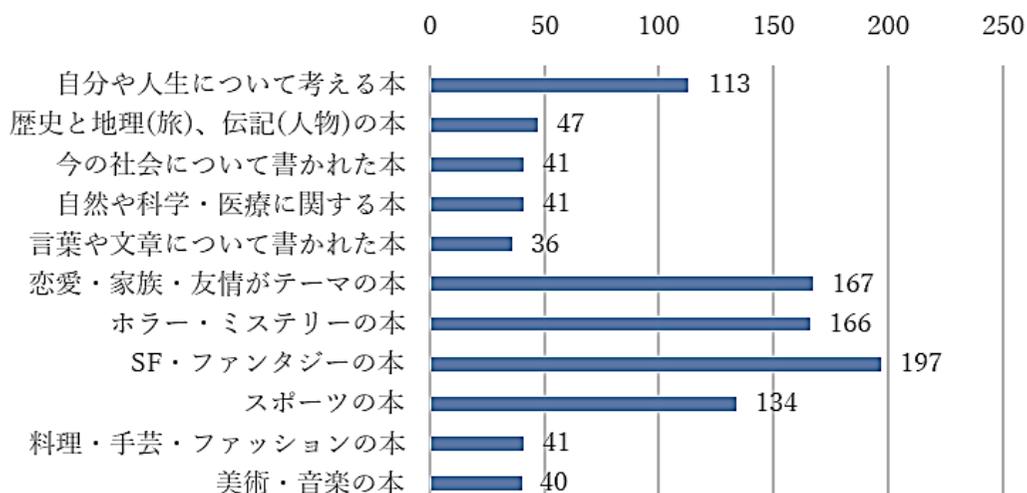
順位	マンガ名	人数
1	ONE PIECE	46
2	呪術廻戦	36
3	僕のヒーローアカデミア	32
4	ジョジョの奇妙な冒険	15
5	ブルーロック	10
6	ドラゴンボール / 怪獣8号	9
7	チェンソーマン / キングダム	7
8	ハイキュー	6
9	NARUTO / 東京喰種	5
10	SLAM DUNK / メイドインアビス	4
	シャングリラ・フロンティア	4

月平均、本と雑誌を何冊読んでいますか？

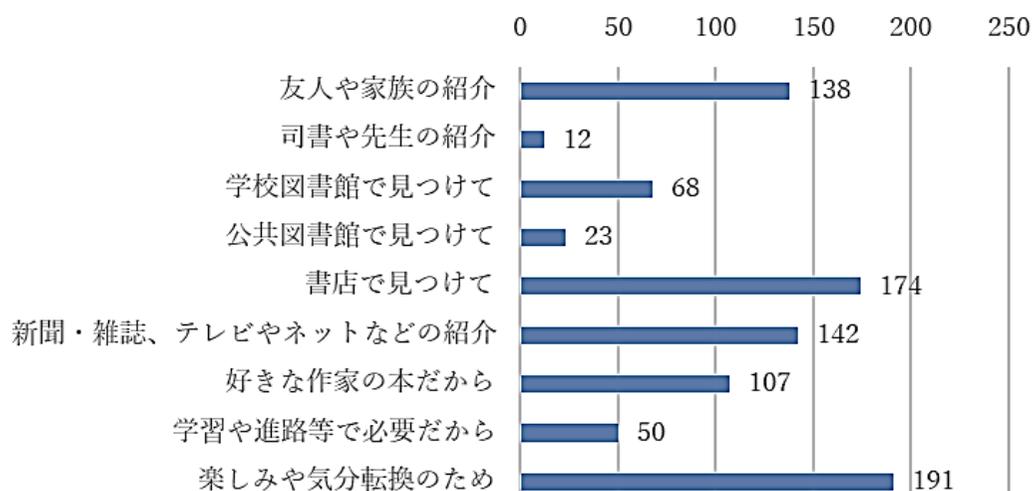




どんな本を読みたいですか？



どんなきっかけで本を読みますか？



今年度の月別利用状況

令和6年度の月別利用状況			
月	開館日数(日)	入館者数(人)	貸出冊数(冊)
4月	2	1,898	1,357
5月	21	1,968	1,474
6月	20	1,674	1,273
7月	21	1,450	1,048
8月	15	692	448
9月	18	1,369	984
10月	21	1,412	1,140
11月	20	1,304	970
12月	20	1,699	954
計	158	13,466	9,648

本年度は、二学期で入館者数が一万人を突破しました。貸出冊数も年度内には一万人を超える数が予想されます。今後も利用しやすい図書館を目指して頑張っていきます。



入館者1万人を突破!

◆一万人目はこの人

今年度の入館者一万人目は、十月二十三日(水)の朝に読書をしに来た2年情報電子科の畑中八千代さんでした。

県工図書館への感想を伺ったところ、「記念すべき1万人目の入館者選ばれてとてもうれしいです。まだまだ読んでいない本がたくさんあるので、これからもいっぱい図書館に行こうと思います。」と感想をいただきました。

記念品(図書カード)を贈呈しました。来年度も、多くの皆様のご来館をお待ちしています。



編集後記

本年度も図書館報「書架」を発行することができました。令和に入ってもう6年目、さらに書架も第76号。時代があまりに早く過ぎていくのを実感しています。

とはいえ、本はそういった時代の変化を記録するとともにまた、その過去の次代の記憶を呼び戻してくれるものでもあります。

県工生時代に借りた本に、再び社会に出て出会ったときぜひ、その時を思い出して手に取ってください。あの時の記憶が本の内容ともに思い出されることと思います。スマホの写真は画像でしかありませんが、本の記憶は単なる文字の羅列を超えて、その本を読んだ時代の『雰囲気』を脳内に蘇らせてくれることでしょう。

本校図書館報の作成に尽力してくれた図書委員及び寄稿していただきました教職員の方々に謝意を表しつつ編集後記とさせていただきます。